

2005年4月1日

2005年度新入社員に対する挨拶（要旨）

社長 米倉 弘昌

化学産業は、人々の豊かな生活に欠かせない製品を供給し、21世紀の人類社会が抱える課題である食料の確保、疫病からの保護、新薬の開発、環境の保全などの克服のために大変重要な役割を果たしている。

現在、当社グループは「あらゆる面で強靱な真のグローバル・ケミカルカンパニー」に発展していくことを目指し、2004度から3年間の中期経営計画を推進している。昨年はその初年度であったが、業績面で好スタートを切ることができた。また将来の成長に向けた新たなプロジェクトとしてサウジ・アラムコとのラービグ計画や、中国・無錫での偏光フィルム・導光板の事業化計画、さらに住友製薬と大日本製薬との合併の基本合意など、いくつかの重要な計画に着手した。2年目となる本年は、「グローバル・ケミカルカンパニーの実現に向かって、飛躍に挑戦」を全社の行動指針に掲げてスタートしたところである。皆さんには、3つのことを望みたい。

①「社会から信頼される人」になること

当社は、「信用を重んじ確実を旨とする」という、住友300数十年の歴史の中で受け継がれてきた事業精神のもとで事業活動を行い社会からの信頼を培ってきた。皆さん一人ひとりが社会から信頼される人になるために、何事においても、**正直でかつ誠実に行動**されることをお願いしたい。

②企業の社会的責任について

当社が真のグローバル・ケミカルカンパニーとなり持続的に発展していくためには、経済・環境・社会の全ての面でバランスのとれた活動を行うことが絶対条件である。当社には事業は自ら利益を得るものであるとともに、社会に対しても利益あるものでなければならないという住友の事業精神が脈々と流れている。企業としての社会的責任を果たすことの重要性を十分認識していただきたい。

③「世界に通用するプロフェッショナル」になること

当社は「真のグローバル・ケミカルカンパニー」となることを目指している。グローバルな展開にともない、海外の売上高が占める割合や海外拠点の従業員数は急速に増えつつあり、今後も海外の比率は高くなっていく。これまで培ってこられた専門性にさらに磨きをかけ、**世界に通用する実力を身につけるとともに、若いうちから真のコミュニケーション能力、国際感覚を磨く努力**をしていただきたい。

以上

[ご参考]

入社式 : 本社（東京）にて 10時00分から
新入社員数 : 117名